

備考

整理番号

設計年月日 89-3 全葉 53 No. 25  
 工事名 下田町町民交流センター(仮称) 工事  
 図面名称 展開図 Scale 1/100

I 工事概要

1 工事名称 下田町民交流センター(仮称)工事

2 工事場所 静岡県上北郡下田町中千田152-2

3 建物概要

Table with columns: 建物, 構造, 床数, 延面積. Includes rows for 大会センター, 浄化槽, and a total.

4 工事種目

- List of construction items including 受電設備工事, 自家発電設備工事, 直流電源設備工事, etc.

その他工事

- List of additional work items such as 電力会社引込負担金, 電力会社との取引用集算電力計及び変成器類, etc.

II 電気設備標準仕様

1 標準仕様書 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、下記による。

- List of standard specifications including 電気設備技術基準, 消防法及び関連法規, etc.

III 共通事項

1 現場事務所に関する事項 請負者は、工事期間中現場事務所、工事契約書の写し・工程表・工事内訳明細書・設計図一式・現場説明事項書・質疑応答書等・本工事に関する書類一式を常時備付ける。

2 他工事との取合い 施工範囲は工事区分表による。

3 手続き 工事の施工完成に必要な手続きは、すべて請負者の責任とし、その費用は請負者の負担とする。尚、竣工引渡しの立合検査費用も請負者の負担とする。

4 保証 (1) 本工事実施に当り施工担当の専門業者としての留意の注意管理または努力を怠り、そのために事故損害を生じた場合、当該業者は、それを賠償しなければならない。(2) 本工事の保証期間は、契約書によるものとする。

5 監 義 工事の施工または製作上不善な点、或は設計図及び仕様書に疑義のある場合は、必ず工事施工前に監督員と協議しその指示による事。

6 使用機材 工事に使用する機材材料は、工事着手前速やかに、別項指定製造業者一覧表より選定し、使用機材発注先承認書を提出し監督員の承認を得る事。

7 工事記録写真 工事工程の変る毎に工事記録写真を撮影し、アルバムに貼り2組を提出する。監督員が撮影箇所を指定する事がある。ただし写真はカラーとする。詳細は、工事写真作成要領による事。

8 竣工写真 下記のものを含め文字入りフリーアルバムに整理して、原簿とも監督員に提出する事。尚、詳細は監督員の指示による事。—— 完成設計図参照

Table with columns: 分類・規格, 撮影位置, 部数, 写真の大きさ. Includes rows for モノクローム, カラー, and ポジカラー・シートフィルム.

9 竣工引渡 本工事は、竣工約1ヶ月前に竣工引渡工程表を係員に提出し、竣工10日前に竣工検査を受ける。官公署、事業会社等の竣工検査は、それぞれに実施させねばならない。

10. その他事項

- List of other items including 請負者は、工事着手前速やかに電力会社、NTT、消防署等と打合せ承認を得て後施工する事。機器等の取付位置詳細は、監督員の承認を得る事。...

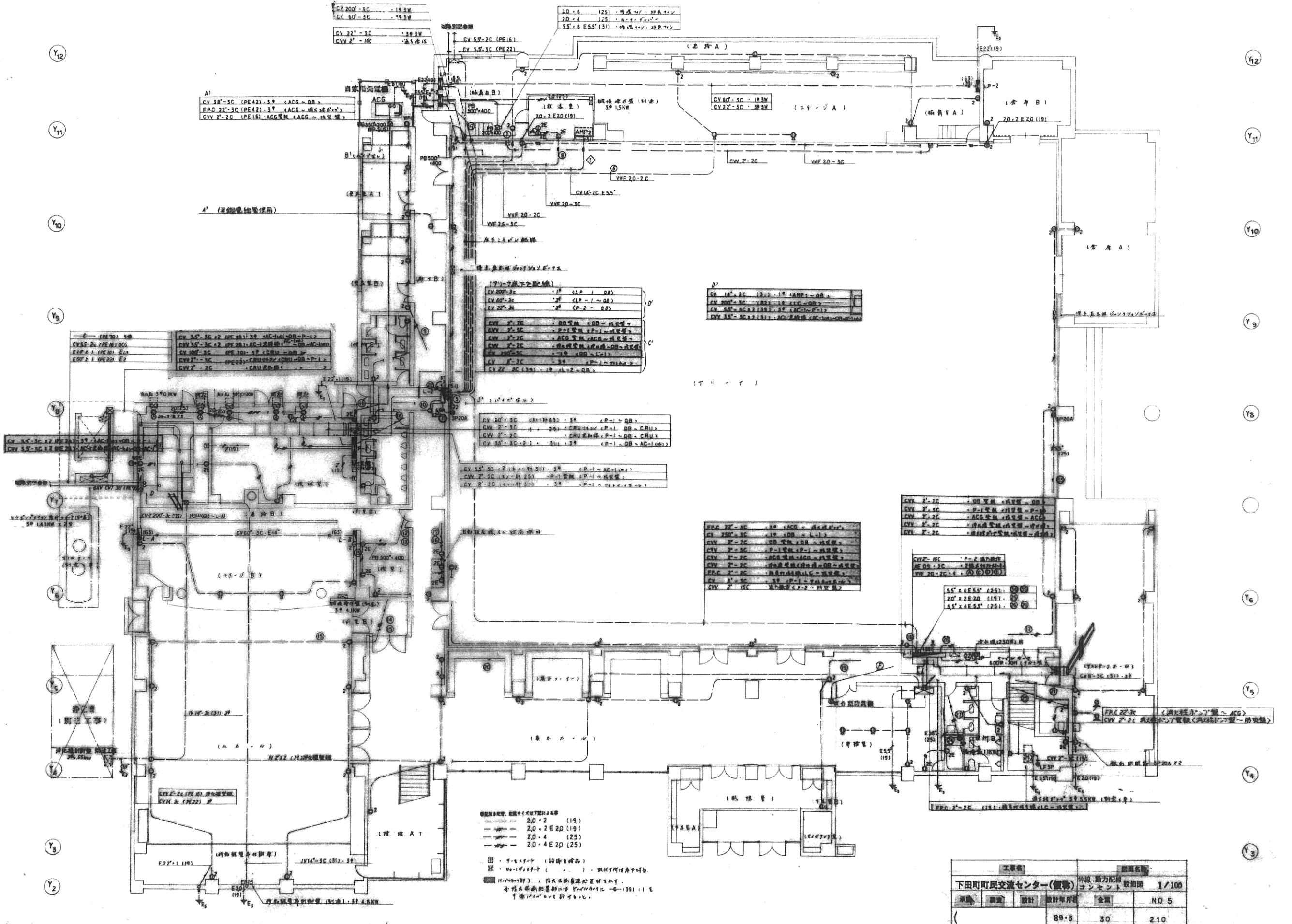
Table with columns: 機材名, 製造業者名. Lists various electrical equipment and their manufacturers like JIS マーク, ケーブル, 電線管, etc.

Table with columns: 機材名, 製造業者名. Lists various electrical equipment and their manufacturers like テレビ共聴機器, 電気時計機器, 表示装置機器, etc.



X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14

Y12 Y11 Y10 Y9 Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2



(T) - 予備用配線

CV 200-3C	1P (P-1) - OB
CV 60-3C	2P (P-1) - OB
CV 22-3C	2P (P-2) - OB

D'

CV 14-2C (25)	1P (AMP) - OB
CV 200-3C (19)	1P (P-1) - OB
CV 54-3C (25)	2P (AC) - P-1
CV 22-3C (25)	2P (AC) - OB

CV 60-3C (19)	1P (P-1) - OB
CV 22-3C (19)	2P (CRU) - P-1
CV 22-2C (19)	2P (CRU) - OB
CV 54-3C (25)	2P (P-1) - OB

CV 54-3C (25)	2P (P-1) - AC (19)
CV 22-3C (25)	2P (P-1) - OB
CV 22-3C (25)	2P (P-1) - OB

EPC 22-3C

EPC 22-3C (19)	2P (AC) - 1P
CV 250-3C (19)	1P (OB) - 1P
CV 22-3C (19)	2P (OB) - OB
CV 22-3C (19)	2P (P-1) - OB
CV 22-3C (19)	2P (AC) - OB
CV 22-3C (19)	2P (AC) - OB
EPC 22-3C (19)	2P (OB) - OB
CV 22-3C (19)	2P (P-1) - OB
CV 22-3C (19)	2P (OB) - OB

CV 22-3C	2P (OB) - OB
CV 22-3C	2P (P-1) - OB
CV 22-3C	2P (AC) - OB
CV 22-3C	2P (OB) - OB
CV 22-3C	2P (OB) - OB

CV 22-3C

CV 22-3C (19)	2P (OB) - OB
CV 22-3C (19)	2P (OB) - OB
CV 22-3C (19)	2P (OB) - OB

配線記号、記号 (1) (19)

- 2.0 x 2 (19)
- 2.0 x 2 E 2D (19)
- 2.0 x 4 (25)
- 2.0 x 4 E 2D (25)

○ 予備用配線 (新設品)  
 ○ 既存配線 (新設品)  
 ○ 既存配線 (既存品)  
 ○ 既存配線 (既存品) (19) x 1  
 ○ 既存配線 (既存品)

工事種別	設備名	数量	単位	合計
下田町民交流センター(仮称)	電力配線 コンセント	1	箇所	1/100
用途	計画	設計	設計年度	金額
				NO.5
			89.3	30
				2.10

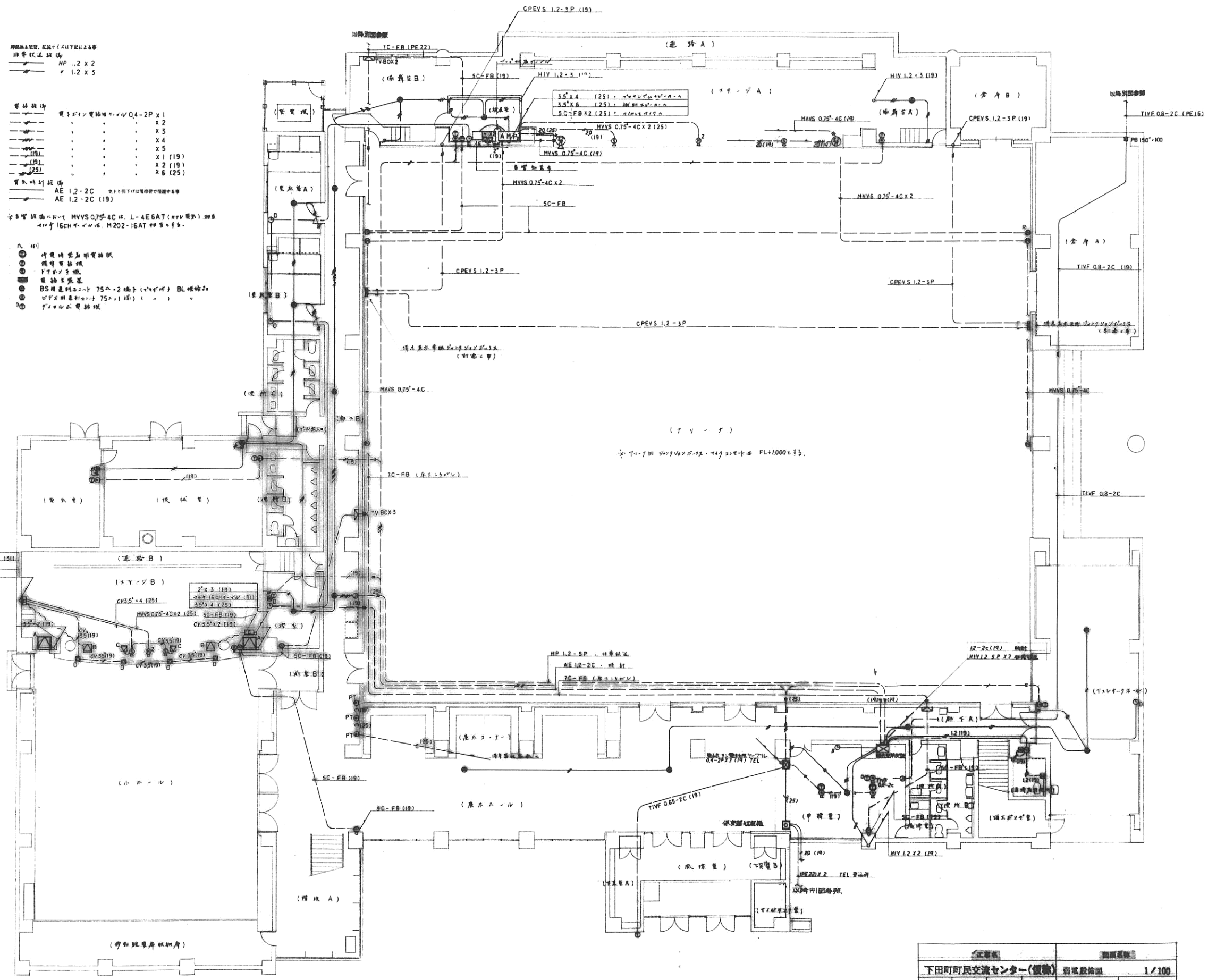
1 階平面図

X<sub>1</sub> X<sub>2</sub> X<sub>3</sub> X<sub>4</sub> X<sub>5</sub> X<sub>6</sub> X<sub>7</sub> X<sub>8</sub> X<sub>9</sub> X<sub>10</sub> X<sub>11</sub> X<sub>12</sub> X<sub>13</sub> X<sub>14</sub>

Y<sub>12</sub>  
Y<sub>11</sub>  
Y<sub>10</sub>  
Y<sub>9</sub>  
Y<sub>8</sub>  
Y<sub>7</sub>  
Y<sub>6</sub>  
Y<sub>5</sub>  
Y<sub>4</sub>  
Y<sub>3</sub>  
Y<sub>2</sub>

Y<sub>12</sub>  
Y<sub>11</sub>  
Y<sub>10</sub>  
Y<sub>9</sub>  
Y<sub>8</sub>  
Y<sub>7</sub>  
Y<sub>6</sub>  
Y<sub>5</sub>  
Y<sub>4</sub>  
Y<sub>3</sub>  
Y<sub>2</sub>

- 照明器具 照度 (lx) 2.0  
 非常灯 照度 (lx) 1.0  
 HP 2x2  
 1.2x3
- 電話機  
 電子式電話機 (V.O.4-2P) x1  
 x2  
 x3  
 x4  
 x5  
 (19)  
 (19)  
 (25)
- 電気時計  
 AE 1.2-2C  
 AE 1.2-2C (19)
- 非常灯  
 MVVS 0.75-4C 16 L-4E6AT (非常灯) 20  
 16GH (非常灯) M202-16AT 非常灯
- ① 非常灯  
 ② 非常灯  
 ③ 非常灯  
 ④ 非常灯  
 ⑤ 非常灯  
 ⑥ 非常灯  
 ⑦ 非常灯  
 ⑧ 非常灯  
 ⑨ 非常灯  
 ⑩ 非常灯



\* T<sub>1</sub>-F<sub>1</sub> 1000V 50/60Hz 100A 100V 100A FL+1000±15.

工程名		数量		
下田町民交流センター(仮称)		箱数	1	100
品名	数量	品名	数量	品名
				NO.17
(	89-3	30	2.26	

1 階平面図

空調調和設備 特記仕様書

I 工事概要  
 1 工事名称 下田町町民交流センター(仮称)工事  
 2 工事場所 青森県上北郡下田町字中下田 125-2  
 3 建物概要

建物	構造	階数	延面積 m <sup>2</sup>
交流センター	RC造(一部S造)	2	3,142.460
計			

- 4 工事項目
- [●] 機器設備工事 1式
  - [●] 風導設備工事 1式
  - [●] 配管設備工事 1式
  - [●] 給油設備工事 1式
  - [●] 換気設備工事 1式
  - [ ] 排煙設備工事 1式
  - [●] 自動制御設備工事 1式
  - [ ] 冷凍機並附属設備工事 1式
  - [●] ボイラ並附属設備工事 1式
  - [●] 空調和器並附属設備工事 1式

II 空調調和設備標準仕様  
 1 標準仕様書 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は下記による。  
 [1] 建設大臣官庁登録建築師「機械設備工事共通仕様書」年度版及び「同標準図」  
 [2] 建設省住宅局建築指導課監修「建築設備設計施工指針」最新版  
 [3]  
 [4]

III 共通事項  
 1 現場事務所に常備すべき図書 請負者は、工事期間中現場事務所に、工事契約書の写し・工程表・工事内訳明細書・設計図一式・現場説明事項書・質疑応答書等・本工事に関する書類一式を常時備付ける事。  
 2 他工事との関係 完工期間は工事(区分)による事。  
 3 手続 工事の施工完成に必要な手続は、すべて請負者の責任とし、その費用は請負者の負担とする。  
 4 保証 1) 本工事実施に当り施工担当の専門業者としての善悪の注意管理または努力を怠り、そのために事故損害を生じた場合当該業者はそれを賠償しなければならない。  
 2) 本工事の保証期間は契約書によるものとする。  
 5 疑義 工事の施工には製作上不安な点、或は設計図及び仕様書に疑義のある場合は、必ず工事施工前に施工員と協議しその指示による事。  
 6 使用機材 工事に使用する機材材料は建設者仕様とし、工事着手前までに、別項指定製造業者一覧表より選定し、使用材料発注先承認書を提出し監督員の承認を得る事。  
 7 工事記録写真 工事工程の変更毎に工事記録写真を撮影し、アルバムに貼り2組を提出する。監督員が撮影箇所を指定する事がある。ただし写真はカラーとする。詳細は、工事写真作成要領による事。  
 8 竣工写真 下記のものを全文字入りフリーアルバムに整理して、原簿とも監督員に提出する事。尚、詳細は監督員の指示による事。 意匠図参照。  

分類・規模	撮影枚数	原簿の大きさ(mm)
一般建築物	2枚	●60・90(11)・24・36(12)
○カラー	2枚	●60・90(11)・24・36(12)
●モノクローム	2枚	●60・90(11)・24・36(12)

 9 竣工引渡 本工事は、竣工約1ヶ月前に竣工引渡工程表を係員に提出し、竣工10日以内に竣工検査を受けるものとし、官公署、事業会社等の竣工検査は、それぞれに実施されるものとする。

- 10 その他事項  
 [1] 残土処分 構内敷ならし、構内指示の場所でない積(構外搬出指定処理)  
 [2] 掘削 オープンカット) 山留(欠板、シートパイル)、水替(ポンプ、ウェルポイント)  
 [3] 埋戻土 掘削土(山砂、普通土)  
 [4] 制御盤 電源表示は白、運転表示は緑、異状故障及び不着火表示は橙の表示色とする。  
 [5] 電源周波数 50Hz) 60Hz  
 [6] 測定表 工事完成後現場係員の指示に従い温度、風量、水量、騒音等の測定表を作成し現場係員に提出する事。  
 [7] 風量測定口 第1章第11節17項の風量測定口とし、取付位置は、第2章第2節6項の風量測定口の位置又は特記による。  
 [8] エアークリーン 内張りを施すチャンパーの表示寸法は(外)内)寸法を示す。  
 空調機、温風暖房機に取付けるサブライチャンパー・レターンチャンパー及び特記のチャンパーには点検口(600×450)の点検口を設ける。  
 外壁に面するガラスに直接取付けるチャンパー及びホッパーには排水コック(25mm)を取付ける。  
 [9] 煙感知式ダンパ 第1章第11節12項の防振ダンパーによる、振動型式(自動、手動)とする。  
 [10] 排煙口 第1章第11節9項の排煙口による。  
 [11] 防振継手 共通仕様書に準ずる。但し配管径に対する長さは下記による。  

管径 mm	40 以下	50~80	100以上
全長 mm	300	500	700

 樹脂製の場合(防振のみ)  
 3山ベローズ型(ポリテトラフルオロエチレン樹脂製)  
 SUS製の場合  

管径 mm	50 以下	65~150	200以上
全長 mm	500	800	1,000

 [12] 保温衣表及防食 共通仕様書による。但し下記の内容は本仕様による。  
 (1) 土中配管は、ペトロラタム系ベスト寿命の上、ペトロラタム系防食テープ1/2重ね1回巻を行い、その上に、防食樹脂テープ(JIS Z190 防食用ビニールテープ)1/2重ね1回巻を行う。  
 (2) 油配管の地中埋設及びコンクリート内埋設配管は第2章3節4項(7)による。  
 (3) 保温材 冷水管(ロックウール・グラスウール(ポリエチレンフォーム) 冷温水管(ロックウール・グラスウール) 冷媒管(ロックウール・グラスウール・ポリエチレンフォーム) 蒸気管(ロックウール・グラスウール) ダクト(ロックウール・グラスウール) 機器類(ロックウール・グラスウール・ポリエチレンフォーム) 排煙ダクト(ロックウール・グラスウール)  
 [13] 消音及防振 共通仕様書による。但し下記の内容は本仕様による。  
 (1) 発生騒音は隣地境界点で、許容値は騒音防止条例及環境基準等の以下とする。  
 (2) 消音内貼はグラスウール吸音板(24K、32K、40K)とし厚きは(25)、(50)、100t)のグラスクロス貼りとする。  
 高JIS-A-6306(グラスウール保温板2号)とする。  
 (3) 遮音はプラスチックボード9mm+カラーボード6mm、アルミコーナージュイナ(木製枠下地、プラスチックボードとカラーボードの継目が合わない様施工する)  
 (4) 防振は配管(有)無)ダブル)シングル、ダクト(有)無)ダブル)シングル 大径機器、送風機等(有)無)ダブル)シングル  
 (5) 騒音の測定は、施工業者が責任を持って測定し、報告書をまとめて各関係機関へ報告すること。  
 [14] その他 (1) 施工業者は積小帳を作成し、原因、設計事務所は納める  
 (2) 建物への出入配管は、絶縁スリーブ・編組等を施す事を使用する。  
 (3) 建物への出入配管は、エキストラクション配管(3曲以上)とする。  
 (4) 設備関係露出部分及び制気口類は、指定色で仕上げとする

指定製造業者一覧表 (空調調和設備)

機材名	製造業者名			
ターボ冷凍機				
吸気式冷凍機				
冷温水発生器				
ヒートポンプチャラー				
チリングユニット	三菱	日立		ダイキン
水管ボイラ				
煙管ボイラ				
鉄製セクションナル				
蒸気発生器				
製型温水ボイラ				
パッケージ型空調器	三菱	松下	日立	ダイキン
エアハンドリングユニット	三菱	日立	日立	昭和鉄工
ファンコイルユニット	三菱	日立	日立	ダイキン
ファンコンベクタ				
放熱器				
パネルヒーター	ヒョ-エス			
全熱交換器				
ポンプ類	川本	エバラ	日立	極東
送風機類	エバラ	日立	ミツバ	極東
電気集塵機				
換気扇類	三菱	日立	松下	
電動機				
加湿器				
冷却塔				
製缶類	龜山	仙居	伏見	
制気口	空研	不二工	協同工業	相模工業 丸光
エアーフィルター				
油器具類	工技研発所	昭和機器工業		
弁類	北沢	大和	東洋	
トラップ類				
銅管	新日本製鉄	NKK	川崎製鉄	住友金属工業
銅管				
ライニング鋼管	新日本製鉄	NKK	川崎製鉄	住友金属工業 積水化学工業
ダンパー類				
オイルポンプ	エバラ	日立	極東	川本
電気暖房機				
密閉式膨脹水櫃	ヒョ-エス	アガ-	日立金属	
防熱サレンサー	木村防食			
自動制御	山崎製氷	日本シヤン	東京計器	
スパイラルダクト				
壁紙/鉄板				
ル-ムエアコン	三菱	松下	ダイキン	日立
真空式温水機	昭和鉄工	平川鉄工	タクマ	
石油温風暖房機	リッポット	コロパ販売		

給排水衛生空調設備工事写真作成要領

1. 目的 この要領は下田町町民交流センター(仮称)工事に適用し、設計図面に準拠して、工事写真の撮影及び保管が円滑に取り扱われることを旨とする。  
 2. 写真の分類 工事写真は、工事着手前および工事期間中の写真をいう。  
 3. 工事写真撮影要領 (1) 写真撮影者 請負者は、写真撮影者を定め監督員に届け出て、撮影及び記録を行なう。  
 (2) 撮影箇所 工事写真は、主として工事の不可視部分及び施工の状況を撮影するものとし、別表1を標準とする。なお写真は、施工が適切であることを証明できるものでなければならぬ。設計変更部分及び請負者に代行させる認定部分の撮影については、監督員の指示による。  
 (3) 撮影方法 a 写真には、工事名及び撮影対象の位置、寸法等を記入した小黒板を入れる。(略図で示しても良い) b 撮影対象には、必要に応じ基準線及び主要寸法が読み取れる目盛りを入れる。又材質の確認としてラベル、JISマーク等を貼って撮影する。  
 4. 写真の大きさ 工事写真は、原則としてカラーの手札板(原簿は24mm×36mm)とする。  
 5. 編集 アルバムは六つ切現成様式を使用し、表紙には工事名称、工期、施工業者名等を記入する。又写真の下には必要な説明を付ける。  
 6. 提出時期 請負者は、工事写真用アルバムを1部監督員事務所へ常備し、撮影の都度整備する。又工事完了後は、すみやかに工事写真用アルバムを原簿を提出する。  
 7. 提出部数 施主及び設計事務所へ計2部提出する。

給排水衛生空調設備工事撮影対象及撮影枚数の標準(別表1)

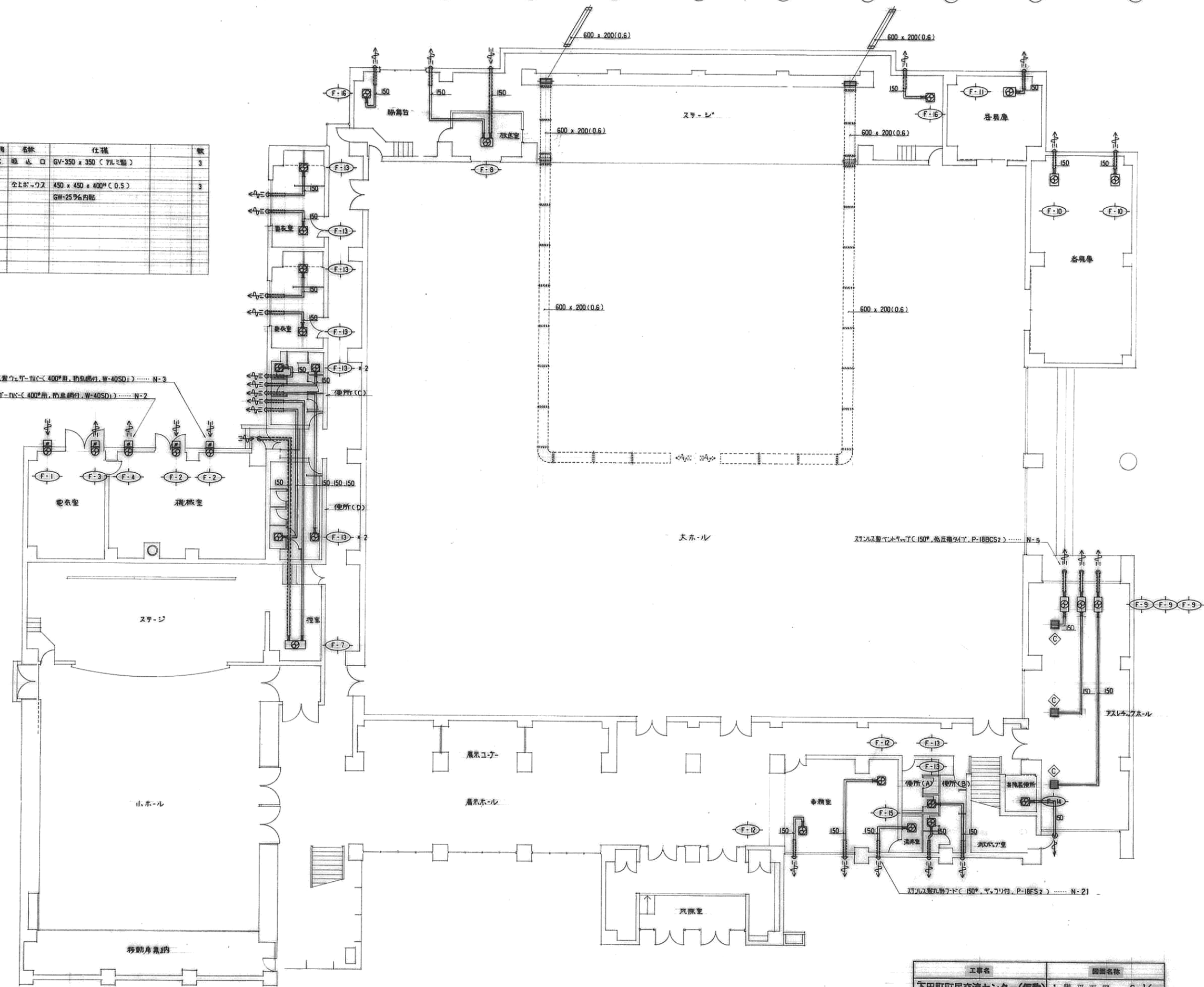
項目	撮影対象	撮影対象	撮影枚数
① 材料	見えなくなる部分に使用する材料	製造業者名、原簿などを入れて撮影する	主要材料ごとに1枚
② 配管およびダクト工事	スリーブ、インサートおよび断熱材、いんべいされる配管およびダクト	コンクリート打ち前の状況 コンクリート継ぎ目部分および天井裏の配管状況 配管の水圧および漏水試験の状況	各種ごとに1枚 各種ごとに1枚 各系統ごとに1枚
③ 地中埋設管	埋設管およびますすへの接続	掘削、地盤および各種配管の状況 給水管よりの接合、分岐施工の状況、排水管およびますすへの接合施工の状況	各系統ごとに1枚 各系統ごとに1枚
4 浄水浄化槽	FRP内部装置(コンクリート躯体)	埋戻し状況 施工の状況 配管及機器、器具取付状況	1枚 1枚 1枚
⑤ 地下貯油槽	油槽	地下貯油槽は、消防署立金検査ごとに	毎回1枚
⑥ 水道防露工事	施工状況	給水、排水、給湯、およびダクトの各項目の施工状況	各工種ごとに1枚
7 改修および撤去工事	在来状況	撤去または改修する機器、配管およびダクトの状況	各工種ごとに1枚

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14

Y12  
Y11  
Y10  
Y9  
Y8  
Y7  
Y6  
Y5  
Y4  
Y3  
Y2

記号	名称	仕様	数
C	吸込口	GV-350 x 350 (7Lミダ)	3
	全上気-ロス	450 x 450 x 400 (C.0.5) GW-25%内貼	3

耐火天井付天井スリット付天井に400mm用、防虫網付、W-40SD1)..... N-3  
耐火天井付天井スリット付天井に400mm用、防虫網付、W-40SD1)..... N-2



天井スリット付天井に150mm用、防虫網付付、P-18BCS2)..... N-5

天井スリット付天井に150mm用、防虫網付付、P-18BS2)..... N-21

工事名				図面名称		
下田町民交流センター(仮称)				1階平面図 S=1/100		
承認	調査	設計	設計年月日	全業	NO 19	
			89.3	26	321	

換気設備